

「野洲川の減災に向けた取組方針」を作成！

～第2回 野洲川地域安全懇談会を開催～

野洲川では、水防法に基づき、平成28年6月14日に想定最大規模の浸水想定区域を公表。  
 このような大規模水害を念頭に、琵琶湖水位の影響を受け浸水が長期に及ぶという野洲川の地形的特徴を踏まえ、長期的避難や隣接する市への広域避難も視野に入れた「野洲川の減災にかかる取組方針」を作成しました。

概要

対象河川：淀川水系野洲川

- 日時：平成28年6月30日（木）10：00～11：45
- 場所：湖南広域行政組合 北消防署2階 多目的研修室（守山市）
- 委員：草津市長、守山市長、栗東市長、野洲市長（座長）、湖南市長  
 滋賀県流域政策局長、気象庁彦根地方気象台長、滋賀国道事務所長、琵琶湖河川事務所長

野洲川の取組方針

【平成32年までの5年間で達成すべき目標】

『大規模水害が起こりうること、また、琵琶湖水位の影響を受け浸水が長期に及ぶことを念頭に、「自ら行動し、地域の防災力を高め」、「社会経済被害を最小化」するための取り組みを実施し、水害に強い地域を目指す。』



【会議状況】

地域住民と連携したサイクリングによる避難経路・野洲川周辺の現地調査  
 【H29年度から順次実施：懇談会全体】



小学生等を中心とした避難経路の安全利用点検  
 【H29年度から順次実施：5市】



ガードレールがないので、浸水時は水路に落ちる危険があるなあ...

「わが家の避難カード」の作成  
 【H29年度から順次実施：5市】

避難先	住所	電話番号	備考
〇〇水産	〇〇町	〇〇-〇〇-〇〇	
〇〇食品	〇〇町	〇〇-〇〇-〇〇	
〇〇建設	〇〇町	〇〇-〇〇-〇〇	

水防活動や応急復旧活動に資する水防拠点整備  
 【H32年度：近畿地整】



委員からの主な意見

- ・今回の取組方針は、ソフト・ハードが一体となった素晴らしいものであり、危機管理の視点で必要なものである。
- ・河道の適正管理の観点から、河道内樹木の伐採をハード対策に追加すべき。
- ・洪水浸水想定区域においては安全な地域でも、土砂災害などの他の災害リスクで危険な地域があるため、情報の重ね合わせなどにより、住民へ誤解を招かないような適正な情報発信が必要。
- ・緊急輸送道路の代換ルート検討は、広域的な避難計画の中にも取り入れて欲しい。
- ・ハザードマップ公表に向けて、何らかの支援策が必要ではないか。
- ・広域的な避難計画・ハザードマップ公表のH32年度目標達成に向け、県管理区間の想定最大規模の洪水浸水想定区域の早期公表が必要。

1,000万人の生活を守る『琵琶湖』の魅力をもつ河川整備

安全安心な地域づくりとともに、河川整備を通じて、地方創生に資するピワイチを核とした構想を提案。  
 また、野洲川を利用したピワイチサブコース構築に向けた職員による現地調査結果を報告。



委員からの主な意見

- ・素晴らしい提案に感謝する。
- ・地方創生の観点からも、ピワイチは高いポテンシャルを持っており、大きな展開の可能性があると考えている。国・県・市が連携してご提案の実現に向けて進めていきたい。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所 調査課  
 〒520-2279 大津市黒津4-5-1 TEL 077-546-0867

